第９号　本小の教育「授業研修会」　2年互見

● 授業スタンダード期　「授業の型づくり」

本年度、特設授業の『脳の引き出し』に次いで、２年生を皮切りに「互見授業」が開始した。女学生の様に思っていた「奈っちゃん」が、いつの間にか立派な先生になっていることにビックリ！（成長している。嬉し～い！）本年度は、昨年度よりバージョンＵＰして、『リレー方式・互見授業』をお願いした。各学年３名の授業が、リレー方式で引き継がれていくのである。２学年の算数は、「長さ、測定」の単元を、①「新里陽子」先生（初任授業）、②「岸本奈津」先生、③「大城有子」先生へと ”つないで” 行く。本当に楽しみです。２学年職員ガンバレ。



■ 2年3組（算数）「 岸本 奈津 」先生　2校時　互見授業

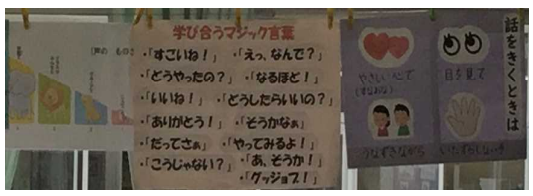
【児童の手（学習規律）】







【教室の色（支持的風土）】

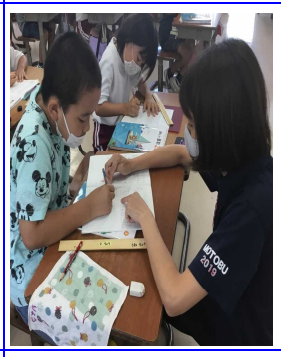




教師の眼（教師の姿勢）】









■児童の規律（躾け）（姿勢・態度）■

●[黙想][良い姿勢][挨拶は、語先後礼]
● 学習用具の準備が全員出来ている。
● ペアのグループ作りが早い。慣れ。
● ペアの話し合い、活動が和やかだ
● 発表者、聴く姿勢、学習規律が徹底
● 見る、聴く、考える、書く、けじめ
● 学習規律、支持的風土づくりが良い
● クラスが「安心できる場」となって
● 学び合い、認め合い、高め合う、G!

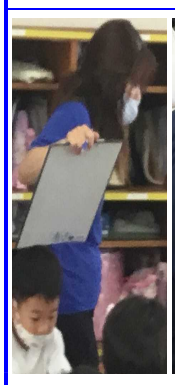
■ 教室掲示物の紹介（教室の色）■

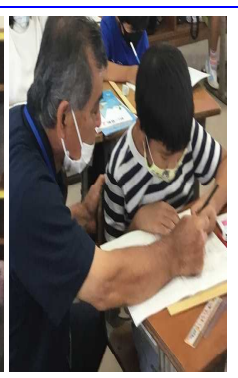
●「学級児童の似顔絵＆誕生月カード」
●「学び合うマジック言葉」「すごいね」
●「見る」「聴く」「話す」マナー表
●「声の大きさ」基準の図絵基準表
●「１０になる歌」⇒「聞きたいなぁ」
●「算数の進め方」⇒「授業定番の型」

※　あらゆる掲示物が、「静」「動」「認」を満たした、内容の深いものばかり！！

■ 教師の姿勢（声かけ）「教師力」■

●[教]〇〇さんに注目！[子]モク、モク、
●[教]指示後、ステキ。反応が早～い！
●[教]正解者に拍手！[子]〇〇さん Good
●[前時のお勉強]ノートのまとめを見る
●[マイノート有]子のノートと字数一致
●[２の３、算数・オリンピック]etc.- - -
●[ありがとう。直ぐ出来たね][ステキね]
●[注目の合図！][手をポンポン]
※ 教師の声かけが、「肯定感」を高める



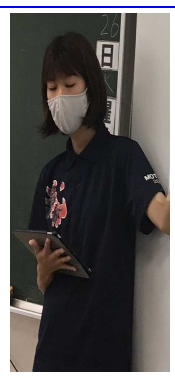


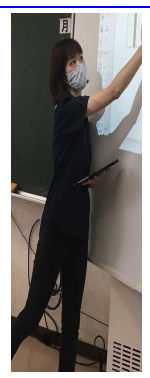


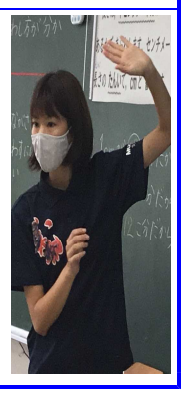
「日向ちゃん、少し淋しそう・・」



「奈っちゃんズ・クラス」







【感想】　**「互見授業・リレー方式」（２の３：奈津 先生）**　。。。　本当に　有難うございました。♥

〇「互見授業」は、同じ単元を学年３名で教材研究（ＯＪＴ）できる、メリットがあると信じている。
〇「互見授業」は、リレー方式にすることで、単元内の繋がり、隣学年との系統性（研究）が明確に。
〇「互見授業」は、１担任だけの指導に偏ることなく、学年の子ども達を「平ら」にする事ができる。
〇「互見授業」は、工夫次第では各単元・教材の「指導方法（シンク）、教材容量（タンク）」となる。
〇「互見授業」は、３名で教材研究をし、１人３時間分の準備をすれば、「９時間（１単元）」できた。
〇「互見授業」は、教師の授業力をチェックするのではなく、多くの眼で子共達を見つめる事が大事。
〇「互見授業」の、今回。奈っちゃん先生の、子共操縦術に、ギラギラした眼に惹きつけられた時間。



校長より